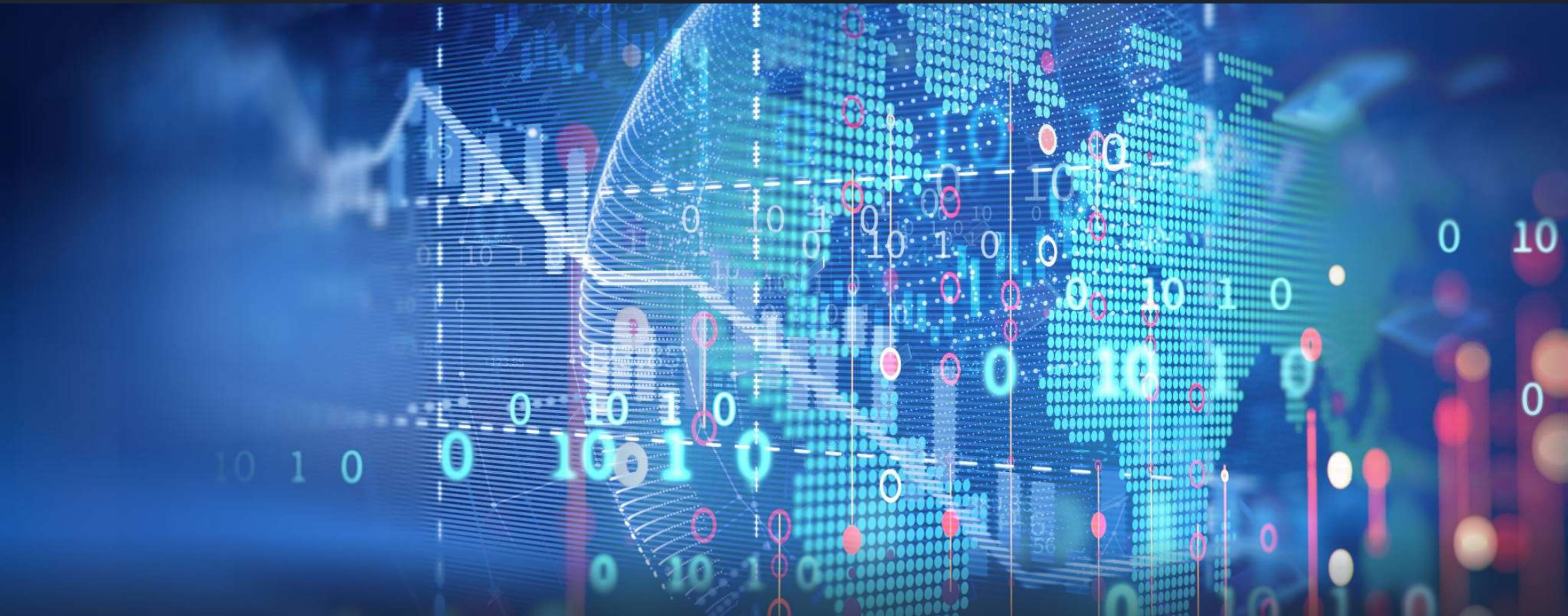


BIMに関する現状と今後の取組

日本空調衛生工事業協会



アジェンダ

1. 設備施工 B I M への変遷経過

① C A D → 3 D C A D → B I M への変遷

② B I M を利用した業務改善の取組

2. 今後の B I M 普及に向けた協会の取組

① B I M の理解度向上活動（設備 B I M とは？）

② 設備施工 B I M 環境の協会内標準化

1. 設備施工BIMへの変遷経過

① CAD→3DCAD→BIMへの変遷

② BIMを利用した業務改善の取組事例



1990年代～

スペースプランナー

PCは図面を作成する道具。
作図判断は図面上で人間が行う。

2000年代～

CADWe'll CAPE

3次元CAD ≠ BIM

3D形状に可視化と3Dモデルからの図面生成
納まり検討、干渉のチェック

一部の現場での取組事例

- ・ VRや3Dでのプレゼンで施主意思決定
- ・ 施工手順等の施工計画業務の効率化

2010年代～

CADWe'll Tfas

ダクト・配管など属性情報
モデル化したBIMフット

2. 今後のB I M普及に向けた協会の取組

① B I Mの理解度向上活動（B I Mとは？）

- ・ 建設業界ソリューションの移り変わり
- ・ B I Mとは？
- ・ 設備施工BIMを導入することによる働き方改革
- ・ 企画・基本計画でのBIM採用のメリット
- ・ FMでの展開事例

② 設備施工B I M環境の協会内標準化

- ・ 協会内部でBIM環境について検討開始
- ・ 設計コンサル技術や施工計画等のノウハウ部分の権利保護検討
- ・ B E P／E I Rに、モデル業務責任の観点からB I M業務協力企業名を明確にする
- ・ B I M設計業務に合わせた標準業務の規定と標準業務報酬の検討
- ・ B I M設計協力時の、業務委託契約の締結と相応の対価を要求する意識の浸透